



## 2023年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年1月13日

上場会社名 株式会社MS&Consulting 上場取引所 東  
 コード番号 6555 URL <https://www.msandc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 並木 昭憲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 日野 輝久 TEL 03(5649)1185  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年2月期第3四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年11月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第3四半期	1,518	19.6	112	△18.6	111	△17.9	76	△17.8	76	△19.1	69	△28.5
2022年2月期第3四半期	1,269	58.5	138	-	135	-	93	-	94	-	96	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第3四半期	17.58	17.42
2022年2月期第3四半期	21.32	21.17

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年2月期第3四半期	3,570	2,841	2,872	80.4
2022年2月期	3,901	2,866	2,895	74.2

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2023年2月期	-	8.00	-	-	-
2023年2月期(予想)	-	-	-	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,215	14.5	373	17.8	372	18.7	240	17.0	240	16.2	55.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年2月期3Q	4,465,000株	2022年2月期	4,465,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年2月期3Q	169,469株	2022年2月期	128,169株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年2月期3Q	4,334,337株	2022年2月期3Q	4,414,972株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、行動制限の解除によって新型コロナウイルス感染症拡大の影響は和らいできたものの、エネルギー・輸入原材料価格の高騰によるコストプッシュ型インフレが企業収益や家計の実質所得を圧迫、加えて円安は輸出には有利に働くものの、内需型産業にとっては更なるコスト上昇要因となるため、当社の主要顧客である外食・小売などのサービス産業にとって、厳しい環境が続いております。

このような環境下、基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ」(以下「MSR」という。))をはじめとしたミステリーショッピングリサーチ事業の国内における売上収益は、前第3四半期累計と比較し、19.1%増となりました。主な内訳として、MSRは国内の調査数で32.6%増、国内の売上収益で14.4%増、コンサルティング・研修(以下「コンサル」という。)は、国内の売上収益で37.3%増となっております。以上の結果、前第3四半期累計と比較し、売上収益で19.6%増となりました。

外食・小売など大手のMSRやオンライン研修も含めたコンサルが再開、SaaSの導入に伴うコンサルも増加したことで増収となりました。

しかしながら、感染拡大や原材料価格高騰によるコスト抑制ニーズの高まりなど厳しい営業環境が続く中、当第2四半期以降のIT導入補助金を活用したSaaS受注の伸び悩みによって、当第3四半期はその導入に伴うコンサルが減少しました。また、外食・小売など大手のMSRが再開され、調査数は引き続き回復しておりますが、1調査あたり単価・粗利は低下傾向にあります。

このため、販管費増及び雇用調整助成金減によるその他の営業損益減により、前第3四半期累計と比較し、営業利益で18.6%減となりました。

受注高においては、当第2四半期からの受注ずれもあり、当第3四半期では前年同四半期比10.9%増、前第3四半期累計との比較でも4.7%増となっております。

当第3四半期累計の通期業績予想に対する売上収益進捗率は68.5%(前年同期65.2%)となっております。同営業利益進捗率は30.1%(前年同期65.3%)と、売上収益進捗率との乖離は大きいものの、当第4四半期は利益の大幅な改善に繋がる案件の計上が予定されているため、現時点における通期業績予想は概ね達成の見込みとなっております。

生産面では、調査数の着実な増加に伴い、稼働の平準化による生産コストの逡減を図りつつ、安定的且つ効率的な生産体制の再構築を進めております。

管理面では、当第3四半期累計と比較し、原価が16.4%増、販売費及び一般管理費が22.2%増となりました。原価では、調査数増、売上収益増に伴うモニター謝礼、業績回復による昇給及び賞与の満額支給(注)に伴う労務費、追加のサーバー増強などIT投資の促進に伴う賃借料などが主に増加しました。また、販管費は、業績回復による昇給及び賞与の満額支給(注)に伴う人件費、広告宣伝費、会議費及び接待交際費、旅費交通費、採用費などが主に増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益1,517,700千円(前年同期比248,816千円増)、営業利益112,259千円(前年同期比25,725千円減)、税引前四半期利益111,007千円(前年同期比24,243千円減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益76,208千円(前年同期比17,940千円減)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 前上半期は夏季賞与の一部削減を実施しました。但し、前期は結果的に営業利益が予算を大幅に達成したため、本削減分を決算賞与として支給しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物が406,997千円、営業債権及びその他の債権が63,188千円減少し、使用権資産が30,461千円、その他の無形資産が36,542千円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて331,232千円減少し、3,570,037千円となりました。

負債については、リース負債が30,142千円増加したものの、営業債務及びその他の債務が131,084千円、借入金が124,992千円、その他の流動負債が50,050千円、未払法人所得税等が29,528千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて305,511千円減少し、729,328千円となりました。

資本については、配当金支払による利益剰余金の減少69,412千円、親会社の所有者に帰属する四半期利益76,208千円等により、前連結会計年度末に比べて25,721千円減少し、2,840,709千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ406,997千円減少し、665,395千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、20,193千円の支出(前年同期は317,417千円の収入)となりました。これは、税引前四半期利益の計上111,007千円、営業債権及びその他の債権の減少額64,774千円、営業債務及びその他の債務の減少額131,890千円、法人所得税の支払額60,561千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、68,149千円の支出(前年同期比33,952千円増)となりました。これは、無形資産の取得による支出66,583千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、317,688千円の支出(前年同期比157,512千円増)となりました。これは、長期借入金の返済による支出124,992千円、配当金の支払額69,412千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月7日の「2022年2月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,072,392	665,395
営業債権及びその他の債権	318,599	255,411
棚卸資産	6,233	26,414
その他の流動資産	44,144	107,603
流動資産合計	1,441,368	1,054,823
非流動資産		
有形固定資産	12,628	8,804
使用権資産	32,933	63,394
のれん	2,223,891	2,223,891
その他の無形資産	133,443	169,985
その他の金融資産	36,152	31,592
繰延税金資産	20,853	17,549
非流動資産合計	2,459,902	2,515,215
資産合計	3,901,270	3,570,037
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
借入金	166,656	111,136
リース負債	30,899	29,035
営業債務及びその他の債務	644,047	512,963
未払法人所得税等	43,208	13,679
引当金	4,369	4,369
その他の流動負債	60,659	10,609
流動負債合計	949,837	681,793
非流動負債		
借入金	69,472	—
リース負債	1,120	33,126
引当金	14,410	14,410
非流動負債合計	85,002	47,536
負債合計	1,034,839	729,328
資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	2,009,308	2,009,227
自己株式	△90,185	△115,242
その他の資本の構成要素	△18,486	△23,174
利益剰余金	948,930	955,726
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,894,567	2,871,537
非支配持分	△28,136	△30,828
資本合計	2,866,430	2,840,709
負債及び資本合計	3,901,270	3,570,037

(2) 要約四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
売上収益	1,268,884	1,517,700
売上原価	△839,016	△976,876
売上総利益	429,868	540,824
販売費及び一般管理費	△390,295	△476,825
その他の収益	100,764	48,331
その他の費用	△2,353	△72
営業利益	137,984	112,259
金融収益	6	6
金融費用	△2,739	△1,258
税引前四半期利益	135,250	111,007
法人所得税費用	△42,399	△34,677
四半期利益	92,851	76,330
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	3,558	△4,603
純損益に振り替えられることのない項目合計	3,558	△4,603
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△83	△2,899
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△83	△2,899
税引後その他の包括利益	3,474	△7,502
四半期包括利益	96,325	68,828
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	94,148	76,208
非支配持分	△1,297	122
四半期利益	92,851	76,330
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	96,715	71,520
非支配持分	△390	△2,692
四半期包括利益	96,325	68,828
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	21.32	17.58
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	21.17	17.42

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上収益	485,373	526,199
売上原価	△305,252	△346,336
売上総利益	180,121	179,862
販売費及び一般管理費	△129,414	△157,212
その他の収益	33,393	12,715
その他の費用	△100	—
営業利益	84,000	35,366
金融収益	0	0
金融費用	△859	△250
税引前四半期利益	83,141	35,116
法人所得税費用	△29,947	△12,400
四半期利益	53,194	22,716
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	556	△2,053
純損益に振り替えられることのない 項目合計	556	△2,053
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	259	△1,295
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	259	△1,295
税引後その他の包括利益	815	△3,348
四半期包括利益	54,008	19,368
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	53,102	22,251
非支配持分	92	466
四半期利益	53,194	22,716
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	53,909	19,579
非支配持分	100	△211
四半期包括利益	54,008	19,368
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	12.03	5.14
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	11.91	5.11

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2021年3月1日時点の残高	621,038	1,554,687	△30,544	△15,241	621,094	2,751,033	△26,504	2,724,529
四半期利益	—	—	—	—	94,148	94,148	△1,297	92,851
その他の包括利益	—	—	—	2,568	—	2,568	907	3,474
四半期包括利益合計	—	—	—	2,568	94,148	96,715	△390	96,325
減資	△576,038	576,038	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	△121,327	—	—	121,327	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△50	—	—	△50	—	△50
配当金	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△576,038	454,711	△50	—	121,327	△50	—	△50
2021年11月30日時点の残高	45,000	2,009,398	△30,595	△12,673	836,569	2,847,698	△26,894	2,820,804

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2022年3月1日時点の残高	45,000	2,009,308	△90,185	△18,486	948,930	2,894,567	△28,136	2,866,430
四半期利益	—	—	—	—	76,208	76,208	122	76,330
その他の包括利益	—	—	—	△4,688	—	△4,688	△2,814	△7,502
四半期包括利益合計	—	—	—	△4,688	76,208	71,520	△2,692	68,828
自己株式の取得	—	△112	△27,027	—	—	△27,139	—	△27,139
自己株式の処分	—	32	1,970	—	—	2,002	—	2,002
配当金	—	—	—	—	△69,412	△69,412	—	△69,412
所有者との取引額合計	—	△80	△25,057	—	△69,412	△94,549	—	△94,549
2022年11月30日時点の残高	45,000	2,009,227	△115,242	△23,174	955,726	2,871,537	△30,828	2,840,709

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	135,250	111,007
減価償却費及び償却費	53,766	58,396
金融収益	△6	△6
金融費用	2,739	1,258
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△20,809	△20,181
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	186,934	64,774
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△10,916	△131,890
その他	△23,033	△41,739
小計	323,926	41,620
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△2,737	△1,259
法人所得税の支払額	△3,777	△60,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	317,417	△20,193
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△701	△1,567
無形資産の取得による支出	△37,847	△66,583
資産除去債務の履行による支出	△1,910	—
その他	6,261	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,197	△68,149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△69,412
長期借入金の返済による支出	△138,880	△124,992
自己株式の取得による支出	△50	△27,027
リース負債の返済による支出	△21,245	△23,284
その他	—	△72,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,176	△317,688
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123,044	△406,030
現金及び現金同等物の期首残高	873,643	1,072,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,138	△967
現金及び現金同等物の四半期末残高	995,549	665,395

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。